

平成 19 年 7 月 18 日 21:00

平成 19 年新潟県中越沖地震 現地調査報告書

日時：平成 19 年 7 月 18 日（水）10:00～15:00

調査参加者： 国土技術政策総合研究所 伊藤研究官

（独）土木研究所 山越主任研究員

湯沢砂防事務所 南雲建設専門官

調査箇所およびルート： 別紙調査ルート図の通り

調査結果：

【結論】

- ・ヘリで上空観察した範囲では、緊急に対応を要する河道閉塞を生じているような崩壊箇所は無かった。
- ・比較的顕著な崩壊は、柿崎から柏崎までの海岸線を除いた内陸部としては、柏崎市南部と出雲崎周辺に分布している。
- ・鯖石川ダム周辺を除けば、基本的に震度 6 弱の揺れを受けたエリアに崩壊は集中している。

【調査エリア毎の特徴】

- ・国道 8 号線河道閉塞地点

7 月 17 日の報告にもあったとおり、国道 8 号線と県道 252 線の交差点付近において、国道を陥没させる地すべりのような土砂移動を確認した。上空観察においても小規模天然ダムは確認された（写真-⑤）。

- ・柏崎市南西・鯖石ダム付近

天王山北東部に建設中のダム（農林水産省所管栃ヶ原ダム）付近で新規崩壊が認められた。特に工事中的新規ダム下流においては、河道にまで達する表層崩壊が認められたが、崩壊土砂は河道を閉塞していない（写真-⑧）。

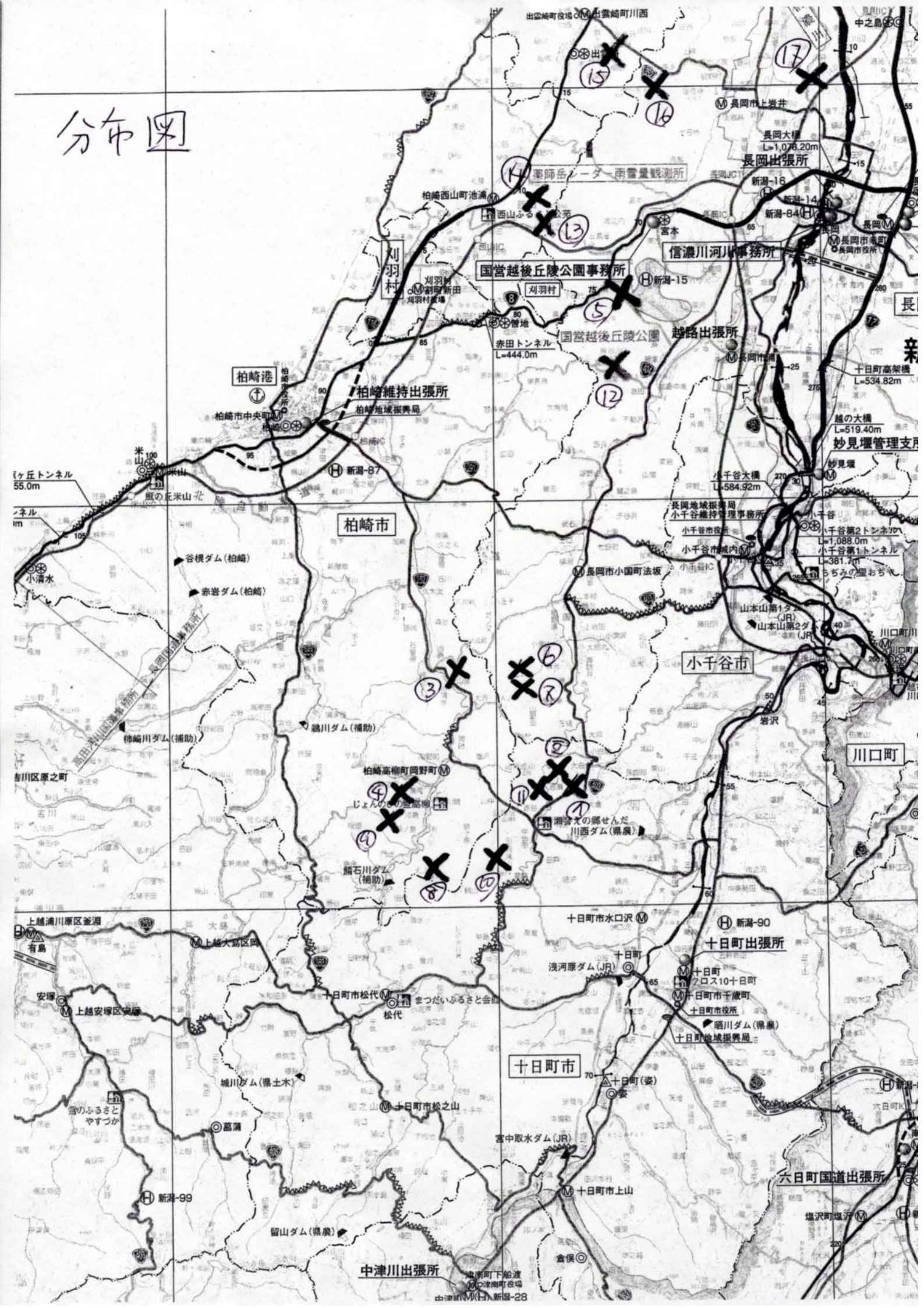
- ・柏崎市南西・渋海川中流域

渋海川流域においても複数の崩壊が認められる。特に岩瀬付近で発生した崩壊は尾根部より崩壊が発生し、土砂は河道付近にまで達しているが、河道閉塞は認められない。森光付近においても道路を閉塞する小規模な崩壊が 2 箇所程度確認された（写真-①）。

・出雲崎南東・薬師岳付近

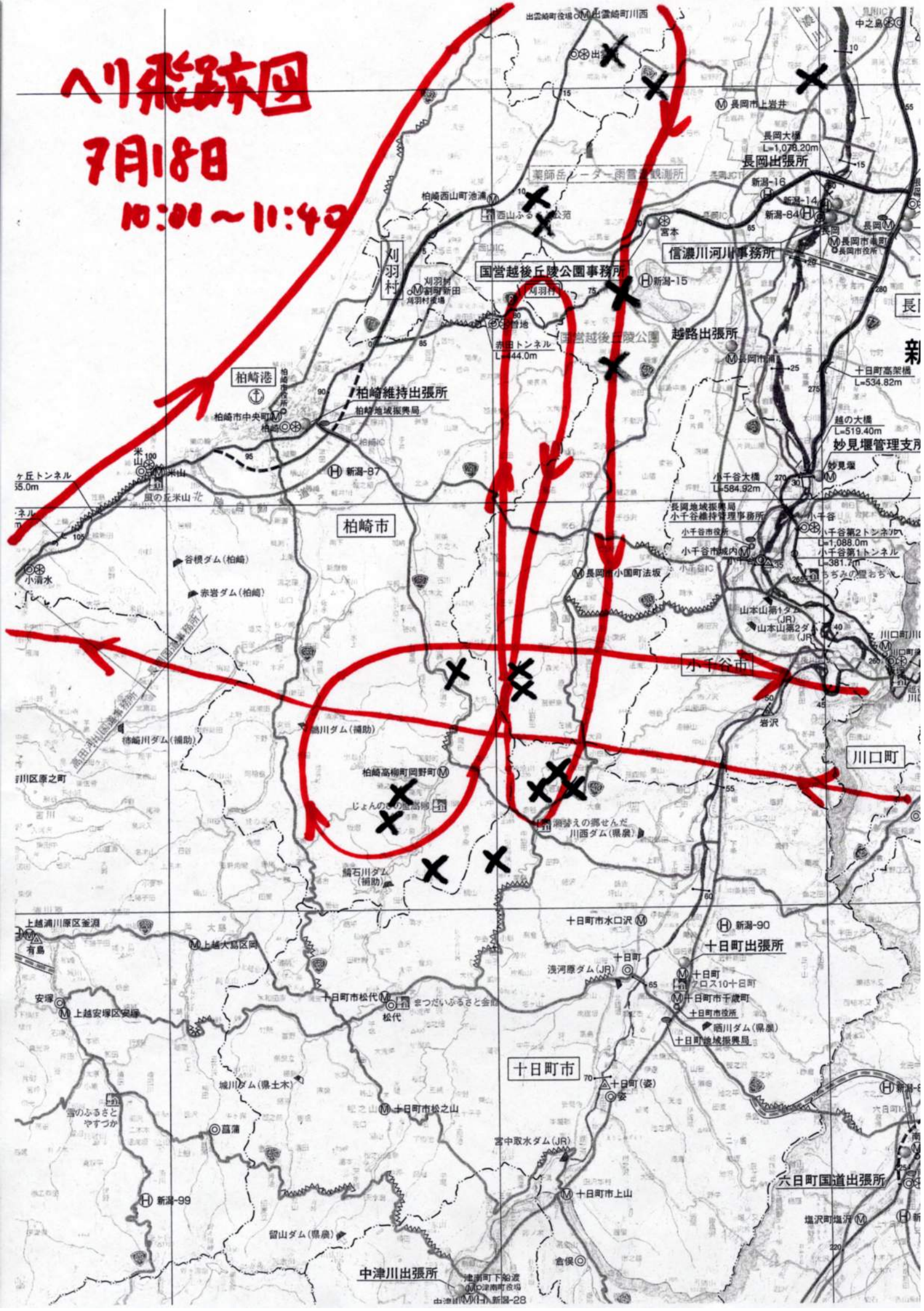
薬師岳レーダー雨雪量観測所北東、小木の城跡付近においてやや規模の大きい崩壊を確認した。崩壊土砂は所管不明のえん堤直下流にまで達しているが、完全に河道を閉塞している様子は無い（写真-⑩）。

分布図



7月18日

10:00 ~ 11:49



13:40-14:40

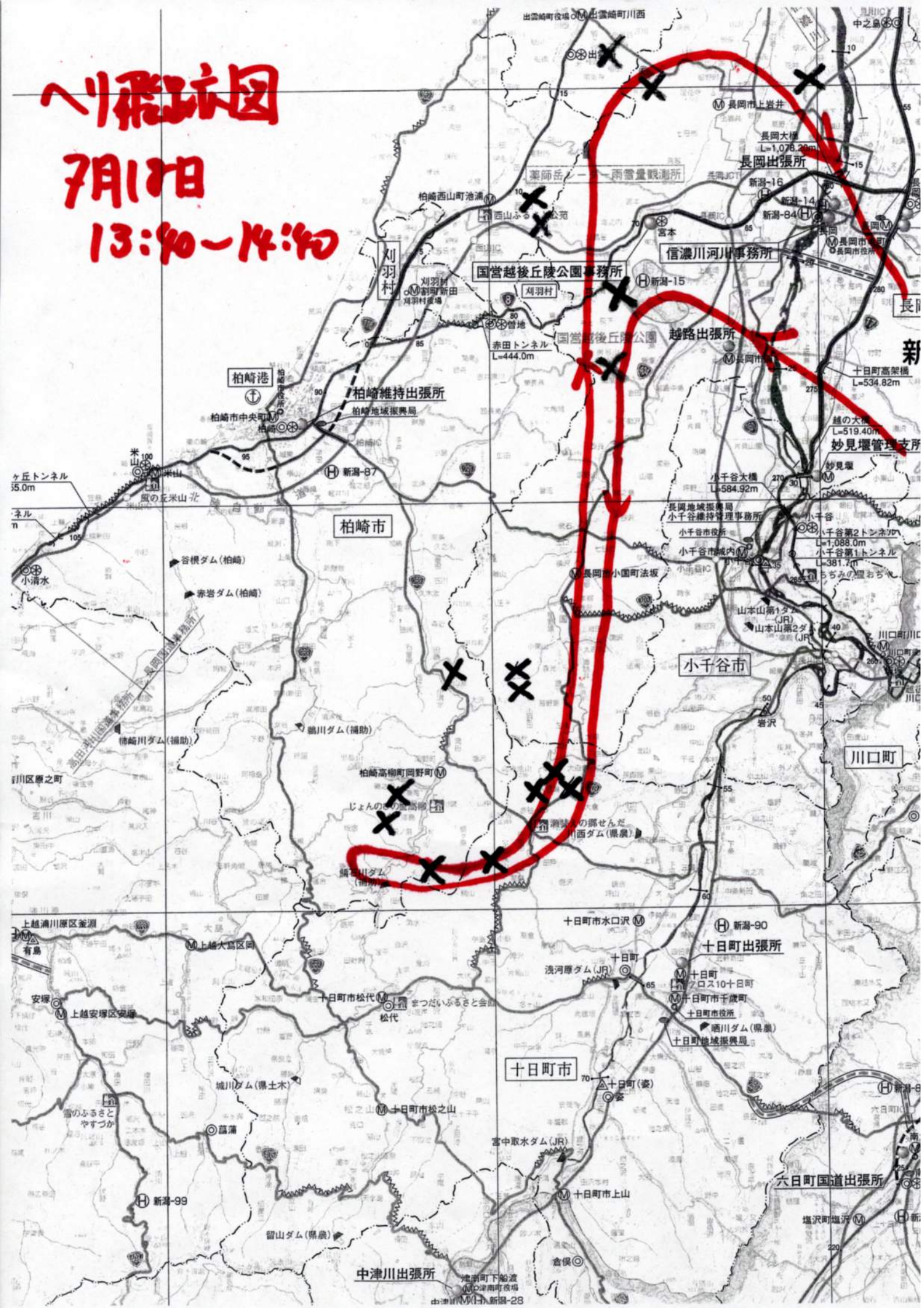




写真- 高耕地山周辺 渋海川右岸側斜面



写真- 南鯖石周辺の斜面崩壊



写真- 高柳町高尾周辺の崩壊地



写真 - 国道 8 号線の河道閉塞状況。



写真 - 田島峠周辺の崩壊地



写真 - 田島峠周辺の崩壊地



写真— 栃ヶ原ダム下流部河道脇の斜面崩壊、崩土は河道に達しているが、完全に閉塞している様子は無い。



写真 - 高柳町漆島周辺の斜面崩壊



写真 - 室島城山周辺の斜面崩壊



写真 - 赤谷周辺の斜面崩壊



写真 - 櫛形山周辺の斜面崩壊



写真 - 物見山周辺の斜面崩壊



写真 - 物見山周辺の斜面崩壊



写真 - 西山町石地周辺の斜面崩壊



写真- 小木の城跡周辺の斜面崩壊。崩土はえん堤直下流部の河道にまで達しているが、完全に河道を閉塞してはいない。



写真 - 中永周辺の斜面崩壊